

能力のアップと道路拡張などが図られます。このため関係機関や地元と検討協議を重ねた結果、みの口地域に代替水路を設置することになり、その経費を市が負担して、積極的に整備を進めていきます。

交通安全対策

六十年度の市内での交通事故は増加傾向にあります。こうした事態を避けるため、関係機関や団体と連携を密にし、よりいっそう交通安全思想の普及

徹底を図るとともに、交通安全施設の整備を進めていきます。

消防業務

六十年度の市内での火災発生件数は、焼失面積、損害額とも減少しました。本年度も、災害の早期発見と早期通報

による初期消火活動により、被害の軽減を図ります。また、消防団員の定期的な教育訓練により、その資質向上に努めます。消防施設についても、なおいっそうの整備に努めていきます。

福祉と健康の充実

福祉対策

▽心身障害者福祉 中東地区精神薄弱児施設「ふなおか学園」(五泉市)に成人更生施設を併設するため施設整備費を支出し、障害児者の処遇の充実に努めます。

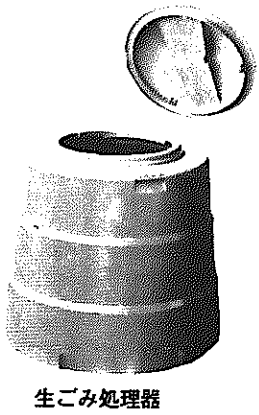
▽老人福祉 老人福祉センターを老人憩いの場とし、地域間の交流に積極的に活用するため、継続して運営費を補助します。また、従来からの老人クラブの指導育成のための助成、スポーツ活動の推進、敬老事業の開催などを実施し、老人自らの生きがいづくりの啓発を図ります。

環境衛生

▽衛生センター 総事業費十三億三千万円余りを投じて、五十八年度から継続事業として取り組んできた、新し尿処理場が完成しました。新年度は、すでに確保してある埋め立て処分地の整備を、関係町村とも十分協議しながら実施に移していきたい考えです。

▽ごみ処理対策 各家庭から出るごみ処理については、生ごみ処理器の普及と併せ、分別収集の推進と、減量のための諸施策を講じていきます。

▽公害対策 住宅と工場の混在から生じる騒音の苦情については、その事業所に対し、適切な防音、遮音など施設の改善を勧告し、環境の整備を図ってきたいと思えます。また、悪臭の苦情のほとんどは、畜舎からの臭気によるもので、これら施設の衛生管理の徹底と巡回指導の強化、団地化の促進に努めます。



生ごみ処理器



▽児童福祉 夫婦共稼ぎ世帯などカギツ子児童の福祉向上のため建設されてきた小林保育所が、四月から新たに開所します。一方、入所児童の減少から今後保育の必要な児童の推移を検討した結果、乳児保育所を当分の間休止することとしました。保育所の運営にはいっそうの工夫検討を行い、保育所本来の機能や目的を十分踏まえ、児童の健全な育成に努めます。

なお、心身に障害を持つ児童への療育事業の充実を図り、対象児の育成成長に努めます。

健康対策

住民主体の地域保健組織の育成強化を図りながら、住民と行政、医療機関が一体となった健康の保持増進に努め

教育環境の整備

学校教育

▽教職員の研修 校長をはじめとする教師には、主体性に基づく積極的で、しかも建設的な学校運営への参加と、常に成長、変化していく児童生徒を見る目を磨き、柔軟に対応できる指導力が強く求められています。このため、本市の学校教育の重点施策として、六

十年度に引き続き、教職員の研修に取り組み、資質向上に努めます。

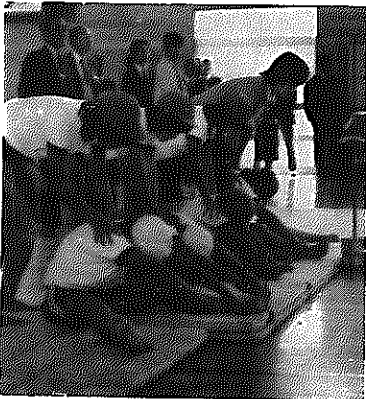
▽児童生徒の健全育成 児童生徒の健全育成を目指し、問題行動に的確に対処するため、全教職員が一体となった校内指導体制の確立や、小学生会議、中学生会議、生徒指導会議などを開催し、併せて家庭、地域、関係機関団体との連携を密にして非行化、いじめ防止に努めます。



▽社会科副読本を作成 市内小学校二、四年生用社会科副読本「のびゆく白根市」を作成します。郷土白根市を教材として、将来を担う児童から広く理解してもらうよう努めます。

▽指定研究 文部省と市の指定研究による「体力づくり推進校」として、前年度に引き続き大鷲小学校から、体力づくりと健康教育の研究と実践を推進していただきます。本年度は最終年度でもあり、その成果を広く発表してもらう予定です。

▽施設設備の整備 年次計画で、小学校の校庭内にブルのない三校の建設工事に取り組みます。新年度は小林小学校に建設します。そのため四千六十三万八千円を計上しました。また、木造校舎の補修などについて



昨年の中間発表から